

1年文理探究科が学校設定科目 「OMURA STEAM LABO」において エネルギー問題に関する講座を受講しました！！

令和5年12月4日（月）に、1年文理探究科が今年度新たに開発した学校設定科目「OMURA STEAM LABO」のプログラムの一環として、長崎大学教育学部学部長の藤本 登教授を講師にお招きし、エネルギー問題に関する講義を受けました。「OMURA STEAM LABO」では、これまで仮説検定を含めた統計やクリティカルシンキングを用いた資料読解、判断する力を養うための哲学などのプログラムに取り組んでおり、今回のエネルギー問題に関する講義を受けた後、「これからの日本において、エネルギーの発電利用はどうあるべきか」という問いに対して、各自で資料をまとめ、討議を行うこととなります。

今回の講義では、各国のエネルギー事情やそれぞれの発電方法のメリット・デメリット、東日本大震災前後の我が国のエネルギー供給の状況など、エネルギー問題を個々の問題ではなく、システム全体の問題として捉える視点を得る良い機会となりました。また、講師の先生手作りの模型を用いた説明で、分かりやすく、発電の仕組みについて学ぶことができました。



写真 左上：講義の様子その1
左下：模型を用いた説明

写真 右上：講義の様子その2
右下：霧箱を用いた放射線実験